

◆編集・発行

茨城県 町長公室 秘書広聴課
〒311-3192
茨城県東茨城郡茨城町小堤1080
☎ 029-292-1111
メールアドレス
ibarakit@town.ibaraki.lg.jp

◆人口

住民基本台帳
令和元年5月末現在
男 16,394人
女 16,270人
総人口 32,664人
世帯数 13,264世帯

◆茨城町民憲章

- 1 ふるさとの自然を守り、美しい環境の町をつくりましょう。
- 1 からだをきたえ、教養を高めて、すこやかな町をつくりましょう。
- 1 隣人や家庭の愛を大切に、まごころのかよい合う町をつくりましょう。
- 1 自分の仕事に責任と誇りを持ち、活気に満ちた町をつくりましょう。
- 1 文化遺産を愛護し、先人の努力に感謝できる町をつくりましょう。

- ◆町の花 桜
- ◆町の木 梅
- ◆町の鳥 ウグイス

◆町の情報発信中!!

- 町公式ホームページ
<http://www.town.ibaraki.lg.jp/>



- 町公式ツイッター
<https://twitter.com/IbarakiTownMati/>



- 町公式Instagram
https://www.instagram.com/townibaraki_official/



里山に育む生きものたち

No.83 アカミミガメ

(ヌマガメ科)

学名 *Trachemys scripta* (Schoepff.1792)

写真・文 小菅 次男

▼注目の外来種

茨城町の池沼で甲羅干しをするアカミミガメを普通に見かけるようになりましたが、本種は日本の外来種の中で、特に注意を必要とする種として取り上げられています。

▼アカミミガメの生態

アカミミガメは、北アメリカ南部・メキシコが原産地で、ペット用に米国から日本国内に輸入されたものです。

昔、縁日などでミドリガメとして売られていたのはこのカメの幼体です。

池や流れの緩やかな川などに生息し、雑食性で水草や藻などの植物のほか、魚・エビ・カニ・水生昆虫などの動物も食べます。幼体の体は緑色ですが、成体になると、くすんだ暗い色になります。

▼アカミミガメは3亜種

からなりませんが、日本で見られるのはほとんどがミシシッピアカミミガメで、顔の横に赤いライン、甲羅には黄色や黒の縞模様が入るのが特徴です。

大きさは甲長が最大でオス20cm、メス28cmとなり、ニホンイシガメよりずっと大きくなります。

▼どうして増えたのか？

国内でアカミミガメが爆発的に増えたのは、大量に野外に捨てられただけでなく、繁殖力の強さにも原因があります。

在来種のニホンイシガメより多くの卵を一年に何回も産みます。さらに短期間で成体になり、40年も長生きをします。

汚れた水にも耐える事が出来るため色々な場所に適応し、ニホンイシガメ

▼何が問題なのか

本種は在来種のニホンイシガメを準絶滅危惧に追いやるなどの生態系の破壊、オニバスなどの希少な水生植物の捕食・消滅、レンコンなど農作物の被害などで、日本生態学会により「日本の侵略的外来種ワースト100」に指定されています。

世界でもアカミミガメの対策が進められており、日本では特定外来生物への指定が検討されています。

いまだ輸入規制がされていませんが、輸入規制が実現すれば、外来種対策の大きな前進になります。

今、アカミミガメを飼っている人は絶対に野外に放さないでください。

ちびっ子アート ふじ保育園



「たのしかったよ！つくばさん」
やまだ ゆいな (5歳)



「つくばさんのぼったよ！」
ネオパネ・ビデイス (5歳)